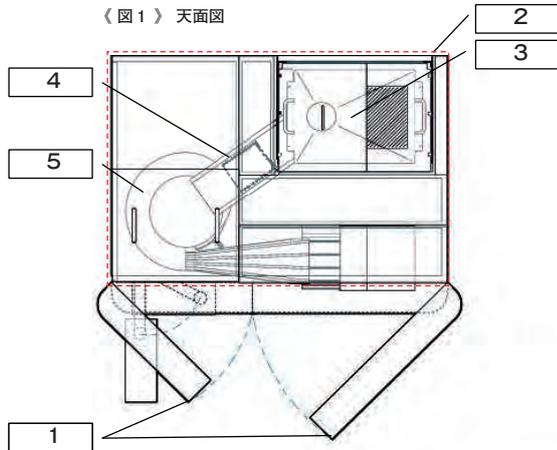


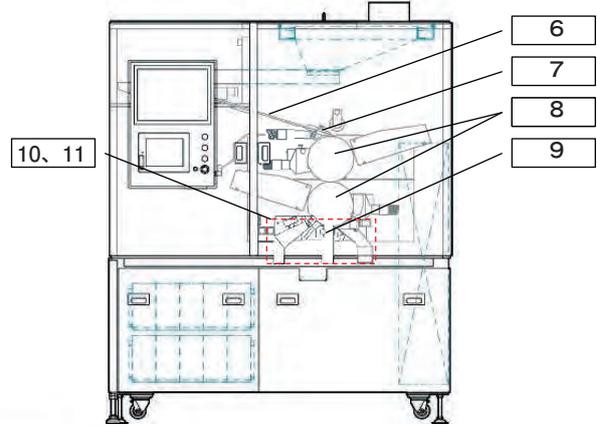
残留リスクマップは、左ページの残留リスクの場所を示すために、三面図、背面図、写真、機器構成図を用いて作成しています。

【1. 残留リスクマップ（本体天面図、正面図、右側面図、背面図）】

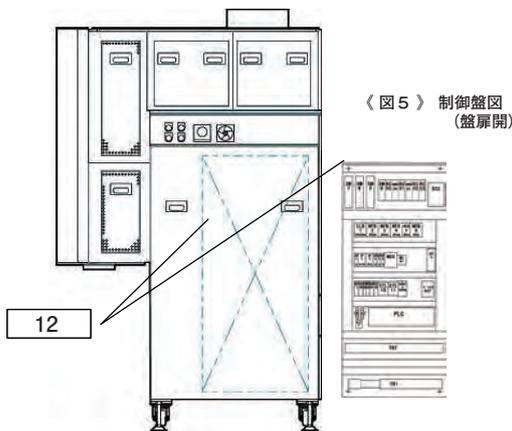
〈図1〉天面図



〈図2〉正面図

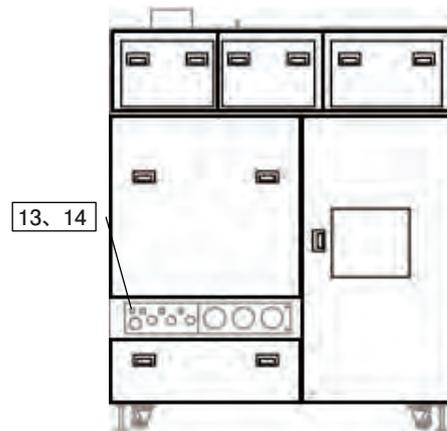


〈図3〉右側面図



〈図5〉制御盤図
(盤扉開)

〈図4〉背面図

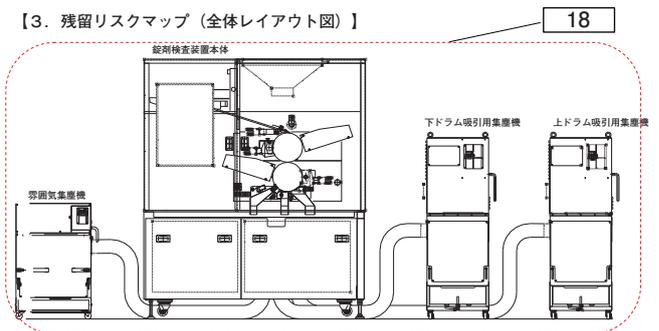


【2. 残留リスクマップ（本体正面写真）】

〈写真1〉正面



【3. 残留リスクマップ（全体レイアウト図）】



このように、図面を用いながら、機械内部の具体的な危険部位を写真により示しています。

あわせて、この機械を使用するとき使用する他の機械との構成図を示して、作業者に残留リスクを適切に伝える工夫をしています。

このように、複数の図面と写真を組み合わせることで、扉を閉じた状態を図面で、開いた内部を写真で構成することにより、残留リスクをわかりやすく作業者に伝える工夫をすることも検討してみてください。